

# 03 企業組合 県木住

〒038-1303 青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL 0172-55-7793 FAX 0172-55-7559  
 [HP] <https://www.kenmokuju.com/> [mail] [info@kenmokuju.com](mailto:info@kenmokuju.com)

VOICE

代表  
佐藤 時彦



連窓から楽しむ  
美しい田園風景

スギの床と壁のホタテ漆喰はいずれも地元の素材。安心、安全で温もりのある空間が広がる。

## 「家族で楽しむ家づくり」

### 誇りを持って暮らせる 地元の木で建てた家

企業名の通り、青森県産材で住宅を建てる工務店です。県産材以外にも地元の自然素材を使い、住む方が健康で心豊かな生活を送れるような家を建てています。

家づくりに使う木材は、主に県産のスギ。肌に直接触れる床だけでもスギを使うと、心地良さが格段に上がります。熱を逃がさない性質があるので「冬に素足



で歩いて温かい」とのご感想をよくいただきます。また、構造材は土台に青森ヒバ、柱にスギ、梁に南部アカマツ。これらの地元材だけで家を建てられるのは、青森県だけです。「地元の木で建てた家に暮らせて幸せ」と、誇りに思ってくれる方もいました。

### 自分の手で伐った木が 自分の家で生き続ける

私たちの家づくりの大きな特徴は、お客様と一緒に家を造る、施主体験型メニューを設けていることです。

その中の一つが「わが家の大黒柱を伐ってくる」。実際に私たちと県内の山へ行き、スギの木を1本選び、お客様ご自身でチェーンソーを使って伐り倒します。自分の手で伐った木が、自分の住む家で生き続ける。それにより家に対する

愛着が一層強くなると考えています。また、陸奥湾産ホタテの貝殻を原料にした漆喰を壁に塗る体験もご用意。お子様も参加でき、これまでに多くのご家族がチャレンジしてきました。家族みんなで家を造ったことは、いつまでも思い出に残ります。

家づくりは一生に一度のプロジェクト。お客様には、ぜひ楽しんでほしいです。そのために私たちはお客様にしっかり寄り添い、一緒に家を造り、建てた後も長くお付き合いしていきます。



# 04 株式会社 今工務所

〒037-0033 五所川原市字鎌谷町504-1 TEL 0173-34-3361 FAX 0173-35-3933  
 [HP] <https://www.kon-koum.co.jp/> [mail] [04@kon-koum.co.jp](mailto:04@kon-koum.co.jp)

VOICE

代表取締役  
社長  
今 謙一



ナチュラルで  
優しい雰囲気の家

無垢材を使った規格住宅の一例。自然な色合いに包まれ、家族が健康になれる空間が広がる。

## 「無垢材の家をリーズナブルに」

### 安心して暮らせるよう 材料にこだわり

「本物の家づくりでかなう、いい暮らしをあなたへ」をモットーに、これまで多数の住宅を手掛けてきました。「本物」とは、無垢材<sup>1</sup>のこと。一生に一度の大きな買い物だからこそ、材料にこだわり、安心して長く住んでいただける家づくりを提案しています。

無垢材で建てる家は、高額であるというイメージがあります。そのため、私たちは多くの方がリーズナブルに無垢材の



1.無垢材／原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

家を建てられるよう、ある程度の間取りを規格化しました。ご予算や広さに合わせ、数パターン用意しています。もちろん、無垢材を使った注文住宅を建てることも可能です。

### 地元だからこそ 香り高い青森ヒバを

そしてお客様のご希望があれば、青森県で育った無垢材を適材適所で使用しています。スギは真っ直ぐ伸びる針葉樹なので縦に対する荷重に強く、柱に向いています。そして土台には、水に強く、虫を寄せ付けない青森ヒバ。香り高く優れた特徴を持つ青森ヒバを、地元だからこそコストを抑え、住まいに取り入れることができます。無垢材の家を建てたお



お客様の満足度が最も高いのが、直接肌に触れる床です。冬は暖かく、夏はさらっとして、ストレスを感じません。

「木で作ったこの家の全部が好き」とお話してくれる方もいます。無垢材の家は化学物質が出ないので、健康に暮らすことができますし、お子さまにも安心です。

時と共に落ち着いた風合いに変化していく無垢材の家。傷も付きますが、それも素敵な思い出として残るような家づくりを心掛けています。

# 05 有限会社 桜庭工務店

〒036-8094 弘前市大字外崎4丁目2-6 TEL 0172-27-4320 FAX 0172-27-4325  
 [HP] <http://saku-kou.com/> [mail] [sakura52@amber.plala.or.jp](mailto:sakura52@amber.plala.or.jp)

VOICE

代表取締役  
桜庭 尚利



雨の日も安心  
濡れずに玄関へ

スギを使って建てた2台分のカーポート。車から降りて直接玄関に行けるため、雨の日も安心だ。

## 「懐かしい空間が広がる家」

### 住み心地の良さを お客様の目線で追究

長年住み続ける住まいには、何よりも心地良さ、使いやすさが大切。それをお客様の目線に立って追究しながら、青森県産材を使い、職人の仕事が見えるような家を建てています。私が青森の木を使って家を建てる理由は、地元の活性化につながるという思いがあるからです。

使う木材は主にスギ。程良い柔らかさのため、床に使うと足が疲れにくい。また、構造材や化粧材にスギを使うこともあります。土台に使うのは、防腐効果があり、シロアリにも強い青森ヒバ。地元のヒバやスギを使ったシンプルな照明器具も自社で作っています。

私たちが造る木の家は、天井の梁などが



見えるようにしています。爽やかな木の香りが漂う、どこか懐かしい空間が広がり、「寝る時に天井を見ると、穏やかな気持ちになる」と話してくれた方もいました。

### 住まいに取り入れる 地元・津軽の工芸

私たちの家づくりでは、津軽焼<sup>1</sup>や漆塗り<sup>2</sup>など、住まいに地元の工芸を取り入れることもできます。優しい色合いの津軽焼は手洗い器に。また、木製の玄関ドア



の引き手に漆を塗ると、ちょっとしたアクセントになります。古民家風住宅の内観に合わせ、パネルヒーターに漆を塗ったケースもありました。

住まいに傷や汚れはつきもの。無垢材<sup>3</sup>は、傷がついたときにその部分だけすぐ取り替えられ、汚れが付いてもそれが趣だと思えるところが魅力的です。私たちは、青森の厳しい冬を快適に過ごせるよう、断熱・気密をしっかり確保した上で、長く愛される住宅造りに取り組んでいきます。

1.津軽焼／中南部地域の伝統的な陶芸で、素朴な色合いが特徴。地元産の土と、釉薬の原料としてリンゴの木灰が使われる  
 2.漆塗り／ウルシの樹液から作られた塗料を器などに塗る、日本に古くから伝わる技術。青森県では「津軽塗」が有名  
 3.無垢材／原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

# 06 有限会社 山本プランニング 一級建築士事務所

〒030-0944 青森市筒井3丁目17-3 TEL 017-738-8452 FAX 017-738-8492  
 [HP] <http://www.actv.ne.jp/~yama-p/> [mail] [yamamoto@ya-plan.com](mailto:yamamoto@ya-plan.com)

VOICE

代表取締役  
山本 潤児



津軽平野に建つ  
「菜園の家」

田園風景にとけ込む、青森県産材の家ならではのたたずまい。

## 「常にリラックスできる家」

### 入浴しながら楽しめる 青森ヒバの良い香り

私たちが家づくりで最も大切にしているのは、常にリラックスできる空間であること。誰もが長年飽きずに生活できるような間取りを考えた上で、青森で育った木材を、五感で楽しめる工夫をします。

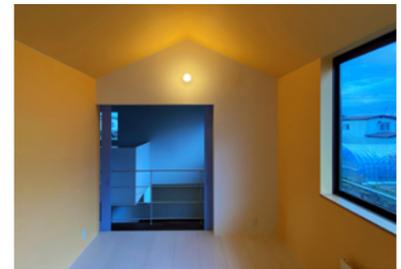
家づくりに使う県産材は、主にヒバ、スギ、マツ。湿気に強いヒバをお風呂の壁や天井に使うと、入浴しながら良い香りが楽しめます。また、柔らかく肌触り



の良いスギの床は、畳のような感覚で素足で使っていただけます。梁には丈夫なマツ。そして青森の厳しい冬を快適に過ごすため、しっかりと断熱・気密を考えて設計します。

### 「おうち感」醸し出す 三角形の天井

私たちは、お客様が自分の家に誇りと愛着を持てることを目指して設計しています。津軽地方は豪雪地帯であるため、雪かきや雪庇など、雪に対するストレスが非常に大きい。それを軽減するための方法をアドバイスしながら、スマートで目を引くようなデザインを提案しています。現在私たちが試みているのは、「おうち感」を醸し出す三角形の天井。この形は人に居心地の良さを与えます。



これまでに県産材を使った家を建てたお客様からは「良い香りが漂って落ち着くし、居心地がいい」などの声をいただきました。木を育てる人、伐る人、製材する人。地元の多くの人達が関わった木材を住まいに使うことは、地域産業の活性化にもつながります。機能面はもちろん、社会的な視点から見たお客様の満足度も非常に高い青森県産材。快適に住みながら地域に貢献できる家づくりを、一緒に考えましょう。